

- ☆2011年度政策制度県要請
- ☆山の学校 in ときがわ
- ☆第2回メンタルヘルス研修会
- ☆地協議長・事務局長会議 / 大会公示
- ☆埼玉県労働相談センター / チャリティゴルフ大会結果
- ☆カンパ活動 / もうすぐ選挙 / 10月の行動予定表
- ☆あけぼのビル

埼玉で働く仲間の総意の要請

2011年度政策制度県要請(8分野39項目)上田知事へ提出

9月6日、連合埼玉は上田清司 埼玉県知事に対し2011年度政策制度要請を行った。

初めに宮本会長から「日本再生のイニシアティブを埼玉がとる、という県政の運営に全力で取り組む上田知事に敬意を表する。本日の要請は埼玉で働く仲間の総意として位置付け、積極的な検討をぜひとも願います」と要請文書を手渡した。

要請を受けた上田知事は、「日頃より県政推進にあたり、連合埼玉の協力に感謝する。要請にもある、医療、福祉、教育そして長期的に産業を育成するなど、少しずつでもイノベーションが図れたらと考えている。特に障害者雇用については未だに成功していないと思っている」と挨拶された。その後、県北の開発状況や、ものづくりで成功している県内企業の紹介、学校教育と政治の関係などについて幅広く意見を述べた。

今後は10月に県の関係部局と話し合いを持ち、平成24年度の予算編成に反映されるよう取り組みを進める。また、各地域協議会においては11月から12月にかけて該当エリア内の市町村に対し、政策制度要請を行う予定となっている。

※要請内容は、連合埼玉ホームページに掲載していますのでご覧ください。



宮本会長より上田知事へ政策制度要請書を手渡し



要請内容について話をする連合埼玉宮本会長と上田知事

ときがわの自然に触れる

ネット21運動「夏休み親子自然体験 山の学校 in ときがわ

8月20日に夏休みを利用して、親子で自然に触れ、自然環境の大切さを学ぶ機会として今年も「ネットワークSAITAMA21運動」主催による“山の学校inときがわ”を、NPO法人「ときがわ山里文化研究所」のご協力をいただき開催しました。

今年は、20家族+スタッフの84名が参加しました。当日は朝から小雨が降ったり止んだりのあいにくの空模様…。子ども達が楽しみにしていた川遊びも心配されましたが、集合時間になると、どんより空は変わらぬものの、雨はビタリ。「ときがわ山里文化研究所」の柴崎理事長のご挨拶のあと、みなさんは年少と年長の2グループに分かれて山道散策と川遊びに出発しました。

思ったより急な山道を歩きながら、昆虫を見つけたり、NPOの方から地元ときがわの自然の話の伺い、一同「へえ〜」「そうなんだ!」と感心しきり。川辺に着くと子ども達は大喜びで川の中へ。前日から雨で、やや水の流りが早く、どの子もお父さん、お母さんと手をつないで川へ入っていましたが、あまりの冷たさに子ども達より大人のみなさんの方が大変だったようです。肝心の子ども達とはいうと、とにかく元気いっぱい、沢ガニを捕まえたりして楽しんでいました。

川遊び終了後、バーベキュー会場である旧大槻第一小学校に戻ると、スタッフのみなさんが一生懸命用意してくれたバーベキューや豚汁、焼きそばのいい匂いが。

みんなお腹いっぱい食べた後は、体育館の中で輪投げ大会を開催。子ども達は景品のお菓子を手にして喜んでいました。短い時間ではありましたが、楽しい時を過ごす事ができ、充実の一日となりました。

ご協力いただいた「ときがわ山里文化研究所」のみなさん、スタッフのみなさん、ありがとうございました。

埼玉労福協 竹花康雄

「楽しかったバーベキュー」

高橋菜摘

今は、使われていない学校の校庭でバーベキューをやりました。ふだんは、野菜がきらいですが、この日は野菜がおいしかったです。自分で焼いたり、生でも食べられました。メインの山登りと川探検にも参加できました。山登りはふつうに登れました。川探検はウシガエルと滝を見てよかったのですが、寒かったのでちょっと残念でした。



前日は天気が崩れて、せっかく子どもと楽しみにしていた川遊びができるか心配でしたが、当日は心配をよそに散策、川遊び、バーベキューと楽しむことができました。

散策では、ときがわの自然を感じることができ、子どもにも自然を感じてもらうことができました。夏休みの良い思い出になったかなと思いました。家からも、そんなに遠くなく、自然溢れるときがわが好きになりました。

— 祥雄



長坂ファミリー

山の学校に行 たこと
 ながさか くれあ
 さいしよば、山のぼりをして、つくたい
 えとかを数えてもらいすごいなあと感じまし
 た。山のぼりて足がつかれました。入ってみ
 そして、やっと川につきました。入ってみ
 たら、水がつかめたくてさもちよかったです。
 木のぼり、ばがみどり色できれいでした。
 そのつぎはバーベキューでした。曲ややさ
 しがおもしろかったです。また行きたいです。



みんなで川遊び



バーベキュー

今年は初めて山の学校に参加させていただきました。毎年、尾瀬の方に参加させていただいておりますが、ときがわの山も大変魅力的でした。

尾瀬とは違い、微妙に整備?されている山道を歩き、川へ素足で入るとめっちゃめっちゃ冷たい!「上流はとても冷たいんだね」と言いながらズボンが濡れながらもどんどん奥へ進む息子。沢ガニを捕り、家に持ち帰ると、ママにたくさん土産話をしていました。

自然と触れ合い、息子は生き生きとしており、また、バーベキューでも様々な方とコミュニケーションが取れ、親子でとても充実した一日を過ごすことが出来ました。

今回のような企画に安心して参加出来るのも、事務局の皆さまのお陰であり、大変感謝申し上げます。また機会があれば参加したいと思いますので、よろしく願いいたします。

鈴木 力
 諒大(7歳)
 徹大(3歳)



参加者のみなさん



鈴木 徹大(3才) 諒大(7才)

日常のコミュニケーションを大切に

連合埼玉「第2回メンタルヘルス研修会」開催

9月のメンタルヘルス月間の取り組みとして、加盟組合の期変わりのタイミングに合わせて、9月7日(水)に第2回メンタルヘルス研修会(基礎編)を29名の参加者のもと開催しました。

研修に先立ち、佐藤事務局長より「メンタルヘルスは通年で取り組まなければいけない課題であるが、9月10日は世界自殺予防デーであり、また組織点検のひとつの機会としてももらいたいことから、9月をメンタルヘルス月間として本日の研修会と、同時に働く人の電話相談室(9/6~10)を開設し、取り組みを進めている。職場の仲間から心と身体を害する人を出さない取り組みと、人は生活する上で少なからずストレスを感じるものであり、自分でうまく解消することを含めて、本日の研修を、ぜひ参考にしてもらいたい」との挨拶がされた。

今回の研修は基礎編として、メンタルヘルスの鍵となるコミュニケーションについて実習を通して学び、日常のメンタルヘルス対策に役立てることをねらいとして開催されました。講師には、日本産業カウンセラー協会の林久美子氏、下村信子氏を講師に招き、コミュニケーション重視により、机を使用せず椅子だけで行うグループワークを中心に進められました。

午前中は、東西南北の壁に振り分けられたプレートを使用して、自分の好きなものを選択し、次々にグループ編成しながらメンタルヘルス対策について考え、共有化をはかりました。



セミナーの様子



挨拶をする佐藤事務局長



「聞き役」「話し手」「観察する人」に分けて意見交換

午後は、メンタルヘルスとコミュニケーションについて、3人1グループとなり、役割を「聞き役」「話し手」「観察する人」と分けて、「今までで一番大変だったこと」などをテーマにし、チェックシートを活用して、それぞれの立場にたった意見交換を行い、話の聞き方などコミュニケーションの重要性と、日頃からのコミュニケーションによる信頼構築(あいさつ、報告、連絡、相談、指摘、注意)の必要性を学び、講義を終了しました。

参加者のアンケートからは、ほぼ全員が満足し、研修の目的を理解できたとの結果でした。また、まわりの人に対するコミュニケーションの大切さがわかりました。より、具体的な実例をあげて対処法を知りたいとの声もありました。

2011年度 第2回地協議長・事務局長会議を開催



挨拶をする宮本会長



会議の様子

9月8日(木)に、さいたま市あけぼのビルにおいて、「2011年度第2回地協議長・事務局長会議」を31名の参加のもと開催した。

開会にあたり宮本会長から「第1回地協議長・事務局長会議以降、たくさんの出来事があった。東日本大震災では、日本最大の危機で、連合埼玉を挙げてこの支援活動に取り組んできた。地協の皆さんも、地域の被災者への対応などに取り組んでいると聞き、感謝申し上げる。本日の議題にもある、体系的な教育プログラムについては、完成すると27項目のプログラムができるので、各産別のみならず、各単組の執行委員・職場委員の皆さんにも参加してほしい。このプログラムを受けることにより、会社側ときちんと交渉ができる、経営分析ができる、または組合員との間でコミュニケーションが取れるなどの能力をつけて、その能力を今後の活動に生かしてほしい。10月には「ブロック連絡会」や「首長懇談会」を開催し、市長や町長と意見交換をしながら、連合の運動を理解していただきたい」と挨拶がされた。

続いて、「2011年度政策制度要請について」「地協ブロック連絡会・首長懇談会」「地域事務所の活動報告について」など主な議題について議論を行った。

<主な議題>

- ①2011年度政策制度要請について
- ②第18回統一地方選挙への取り組みについて
- ③2011年度「地協ブロック連絡会・首長懇談会」について
- ④地域事務所の活動報告について

<ブロック連絡会、首長政策懇談会>

- | | |
|-----------------|------------------|
| 10月13日(木)西部ブロック | 川越市「東武ホテル」 |
| 10月14日(金)南部ブロック | さいたま市「ときわ会館」 |
| 10月19日(水)北部ブロック | 本庄市「埼玉グランドホテル本庄」 |
| 10月20日(木)東部ブロック | 久喜市「三高サロン」 |

2011年9月13日
日本労働組合総連合会
埼玉県連合会
会長 宮本 重雄

公 示

連合埼玉規約第16条ならびに第19条にもとづき、第12回定期大会を下記のとおり開催する

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 日 時 | 2011年11月17日(木)10:00～ |
| 2. 会 場 | 浦和ロイヤルバインズホテル 4階・ロイヤルクラウン
さいたま市浦和区仲町2丁目5番1号
TEL 048-827-1111(代) |
| 3. 主要議事 | (1)2012年度～2013年度運動方針(案)について
(2)2012年度 予算(案)について
(3)2012年度～2013年度役員を選出について
(4)その他 |

以上

<PR>

◆◆◆ 埼玉県労働相談センターからのお知らせ ◆◆◆



働くみなさん、心が疲れていませんか？



「職場の人間関係がうまくいかない」、「新しい仕事で不安がいっぱい」・・・etc.
 こんな悩みはありませんか？ 働く人の心の悩みの専門家、産業カウンセラーが解決に向けてアドバイスします。
 どうぞお気軽に「働く人のメンタルヘルス相談」を御利用ください。

- 1. 日 時 毎週水曜日 ①午後1時半～ ②午後3時～(年末年始・祝日除く)
- 2. 場 所 埼玉県労働相談センター(埼玉県庁第2庁舎1階)
- 3. 予 約 前日の午前中までに必ず電話で予約してください。

予約電話 048-830-4522

※相談無料・秘密厳守。詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/912-2009-1204-134.html>



埼玉県のマスコット「コバトン」



第21回チャリティーゴルフ大会結果



日 時 2011年9月16日(金)
 場 所 おおむらさきゴルフ倶楽部
 参 加 者 190名
 チャリティ募金 167,763円(東日本大震災の復興支援に拠出します)

順位	グロス	ハンデ	ネット	組織名	氏 名
優勝	83	12.0	71.0	JP労組	吉田 誠
準優勝	84	12.0	72.0	連合栃木	加藤 剛
3位	89	16.8	72.2	中央ろうきんサービス	矢島 哲夫
B・G	75	2.4	72.6	JAM埼玉	谷内 聡

東日本大震災義援金カンパ活動

8月30日(水)午後6時から浦和駅東口において、東日本大震災義援金カンパ活動を実施しました。

大震災から5ヶ月が過ぎましたが、未だに避難所で生活している方もたくさんいます。震災後は、多くの方が募金活動や既にカンパされた方も多く、関心も薄れる中、学校帰りの学生や会社員、主婦の方が協力して下さり約1時間で19,547円集まりました。

協力していただいたすべてのみなさんに感謝申し上げます。



= もうすぐ選挙 =

所沢市長選挙

◆当麻 よし子(とうま よしこ) 62才(無・現1・連合埼玉推薦2回目)
告示日:2011年10月16日(日) 投票日:2011年10月23日(日)

桶川市議会議員選挙

◆佐藤 洋(さとう ひろし) 63才(民主党・現1・連合埼玉推薦2回目)
◆新島 光明(にいじま みつあき) 60才(社民党・新・連合埼玉推薦初)
告示日:2011年11月13日(日) 投票日:2011年11月20日(日)

現在予定される10月の日程表です

10月	連合埼玉・事務局	行事等	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 土			
2日 日	埼玉シニア連合第1回ボウリング大会(10:00~浦和スプリングレーンズ)	嵐山町議選投票開票	
3日 月	第3回組織委員会(14:30~連合埼玉会議室)	地方連合会代表者会議(14:00~17:00・総評会館)	
4日 火		連合第12回定期大会(9:00~ 5日12:00・東京国際フォーラム)	
5日 水			
6日 木	四役・執行委員会(~7日・ヘリテイジ)		
7日 金		埼玉県最低賃金審議会(14:00~)	
8日 土	議員懇談会総会(13:30~あけぼのビル501)	UIゼンセン同盟埼玉県支部「第10回定期総会」(13:30~東天紅)	
9日 日			
10日 月			
11日 火	①教育プロジェクト(13:00~) ②第4回男女平等推進委員会(15:30~連合埼玉会議室)		
12日 水		埼玉労福協企画委員会(10:00~ときわ会館)	
13日 木	「2011年度地協ブロック連絡会」[市長・町長政策懇談会](10:00~15:00~東武ホテル)		
14日 金	「2011年度地協ブロック連絡会」[市長・町長政策懇談会](10:00~15:00~ときわ会館)	自治労埼玉県本部第68回定期大会(10:00~さいたま市文化センター)	
15日 土			
16日 日		①埼玉労福協理事会・役員研修会(~17日) ②所沢市長選告示日	
17日 月		民主党埼玉県連「2011政経文化の集い・結」(18:00~浦和ロイヤルパインズホテル)	
18日 火	政策制度県部局交渉(13:30~あけぼのビル)		
19日 水	「2011年度地協ブロック連絡会」[市長・町長政策懇談会](10:00~15:00~埼玉グランドホテル本庄)		
20日 木	「2011年度地協ブロック連絡会」[市長・町長政策懇談会](10:00~15:00~三高サロン)		
21日 金		電機連合埼玉「東日本大震災復興支援第18回チャリティゴルフ大会」(東松山カントリークラブ)	
22日 土			
23日 日		①埼交連第52回定期大会(13:30~さいたま市「大宮情報文化センター」) ②所沢市長選投票開票	
24日 月	第7回女性委員会幹事会(18:00~連合埼玉会議室)		
25日 火	第4回広報委員会(16:00~連合埼玉会議室)		
26日 水	ネット21運動運営委員会(9:30~連合埼玉会議室)		
27日 木	青年委員会環境学習屋久島(~30日)		
28日 金			
29日 土	ネット21運動「NPOインターンシップ説明会」		
30日 日			
31日 月			

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◇野田政権に期待する

8月30日、衆参両院本会議の首班指名選挙において、野田佳彦民主党代表が第95代内閣総理大臣に選出された。野田政権が取り組むべき課題は山積しており、最大かつ喫緊の課題である震災復興と福島第一原子力発電所事故の収束は一刻の猶予も許されない。一方で、復興の原動力となるべきわが国経済は、長期停滞から抜け出せず、震災の影響と急激な円高なども重なって景気と雇用情勢は厳しさを増している。

9月13日に招集された第178回臨時国会における野田首相の所信表明演説では、「一人ひとりの国民の声に、心の叫びに、真摯に耳を澄まします。“正心誠意”行動します。ただ国民のためを思い、目の前の危機の克服と宿年の課題の解決のために、愚直に一步一步、粘り強く、全力で取り組んでいく覚悟です。」と決意を述べている。野田政権が挙党態勢のもと、原点に立ち返って民主党の理念を実現し、与野党が共に責任ある姿勢で力を合わせ、一丸となってこの国難を乗り越え、日本再生への歩みを進めることを期待する。

◇政権交代から2年

2年前の8月30日、第45回衆議院選挙で民主党が308議席を獲得し、政権交代を実現した。何かが大きく変わるのではないかと、多くの国民が期待したが、鳩山政権・菅政権のいずれも、首相の指導力の欠如と思慮を欠いた発言で、国内外の重要課題で失策を重ねた。また、政局の混乱にひきずられ、政策論争がなござりにされた。懸念すべきは、政治の混乱と空白であり、国民には深刻な政治不信をもたらしたことである。衆議院の任期4年間の折り返し地点である今、自分なりにこの2年を振り返ってみたい。

2009年9月、「国民の生活が第一。」「脱官僚依存」「政治主導の確立」「ムダな予算の削減」などを掲げ、国民の圧倒的支持を受けて民主党政権は誕生した。「コンクリートから人へ」の政策推進やマニフェスト実現のための財源捻出を行うとした行政刷新会議による「事業仕分け」は、政権交代を強く印象づけ、かつての政権でのほころびや無駄を浮き彫りにした。但し、民主党政権にとって「雇用」は最も重要な政策であったにもかかわらず、昨年10月に実施された事業仕分け第3弾では、厳し

い雇用情勢にもかかわらず、労働保険特別会計の5事業が廃止とされるなど、雇用・労働面への配慮が著しく欠如したことは、看過できないものであった。

2009年衆院選は自民党政治からの脱却だけを国民が望んだのではなく、民主党マニフェストに幅広い層から多くの支持を得たことが、政権交代への大きな力となった。しかし、そのマニフェストが政権運営や党運営の足かせになってはいないだろうか。いざ政権について、各政策の整合性をどのように図るのか、プライオリティをどうするかを政府・党でしっかりと議論が行われていたのだろうか。少なくとも国民には議論の姿は見えてこない。鳩山内閣では、政府と党の一元化を掲げて政策調査会を廃止したが、菅内閣では政策調査会を復活させた。本来は、政府・国家戦略局と党・政策調査会が政策調整の軸となるはずであったが、マニフェストに設置構想が示されていた国家戦略局の設置は実現せず、マニフェストの整理が議論されなかったことが、政策決定の仕組みづくりを難しくし、政権運営の不安定化につながったのではないか。

2009衆院選マニフェストは国民との約束ではあるが、作成当時と社会・経済状況は大きく変化していることを考慮すれば、政策内容やプライオリティを修正・見直しすることも必要であり、大切なことはマニフェストの理念を貫き通すことと、国民への説明責任を果たすことである。決して、野党との政局の駆け引きに使われることなどあってはならない。

◇連合における政権交代の成果と課題

この間、政府と連合のトップ会談や政策協議など、各層で連合と政府・党が協議する場ができたことは極めて大きな成果と言える。連合が求めてきた政策・制度において前進したものも少なくなく、とりわけ生活保護の母子加算の復活、子ども手当の導入、求職者支援制度の実現、雇用戦略対話と最低賃金引き上げなどの成果があげられる。

連合と政府・党の間では、政権交代による成果が得られたものの、地方連合会や地域協議会と民主党県連・総支部の間では、成果があったとは言い難い。民主党の地域活動は議員・候補者が中心であり、組織対組織の関係には至っておらず、地方連合会との連携強化には県連の組織強化が不可欠である。

野田政権において、県内選出の衆・参国會議員が政務三役や党の要職についている。それぞれの立場での更なる活躍を期待するとともに、地域における連合との連携にも尽力願いたい。

2011.9.21